

## VUV-SX 懇談会 2026 年度第 2 回幹事会議事録

日時：2026 年 6 月 18 日 16 時～17 時

場所：オンライン(Zoom)

出席者（敬称略）：解良聡（会長）、雨宮健太、奥田太一、小澤健一（編集委員長）、北村未歩（会計監査）、組頭広志、堀場弘司、松井文彦（会計委員長）、松田巖（計画委員長、議事録担当）

オブザーバー(敬称略)：小栗 克弥（NTT 物性科学基礎研）

議事内容：

・開催に先立って会長から挨拶があり、VUV-SX 懇談会（VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会）についての説明があった。その後、参加した幹事が自己紹介を行い、本幹事会におけるそれぞれの役割を説明した。

### 1. オブザーバー就任について

・解良会長より東京大学物性研究所附属極限コヒーレント光科学研究センター/軌道放射物性研究施設の木村隆志所員と久保田雄也所員について、今後、幹事会のオブザーバーとして指名したい旨、説明があった。

・幹事会に異論はなく、今後、木村隆志所員と久保田雄也所員をオブザーバーとして迎え入れることにした。

### 2. 令和 7 年度会計報告

・松井会計委員長より、令和 7 年度の会計報告がなされた。北村会計監査より監査が完了し、特に問題がない旨、報告された。

・これまでの幹事会からの検討課題となっていた賛助会員へのインセンティブ提供について議論がなされた。

・賛助会員へのアンケート調査によって、1) ホームページ(HP)への企業バナーの掲載、2) 研究会などでの企業ブース設置、3) 施設見学の希望があった。

・3) の施設見学について、日本放射光学会の年会・合同シンポジウムにおける VUV-SX 懇談会の総会や VUV-SX 懇談会が催す研究会の機会に、近隣施設の幹事が担当して施設見学を企画する提案がなされた。計画委員長がこの方法を検討することになった。

・北村幹事よりニュースレターに賛助会員に関するページがある旨、説明があった。ただ、レター発行や HP 掲載に対する連絡が賛助会員へされていないことが分かったため、今後は連絡することにした。

### 3. 今年度の活動計画について

・雨宮幹事、松井幹事、松田幹事が委員長を務める国際会議 ACSIN-16 (16<sup>th</sup> Atomically Controlled Surfaces, Interfaces and Nanostructures)と ALC'26 (16th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices '26)が本年(2026)にほぼ同時期に開催される。その間の期間(10/24-11/1)に国内で VUV-SX 懇談会主催の研究会を両国際会議のサテライトとして実施する提案がなされた。

#### 参考

ACSIN-16 : Oct.19-23 (Himeji)

<https://www.icspm.net/acsin16/>

ALC'26 : Nov. 2-6 (Kenting, Taiwan)

<https://microbeamanalysis.jp/alc/alc26/>

・上記開催について、計画委員長が検討することになった。

### 4. ニュースレターについて

- ・小澤編集委員長より、ニュースレターの自由投稿に関する質問があった。
- ・幹事会で意見が交わされ、VUV-SX 懇談会では自由投稿を認めるものの、原稿を幹事会で審議して認可された後に掲載することにした。
- ・2026 年度も「横断的サイエンス」「先端設備利用事例」「国際動向」に関する記事を掲載することになった。

以上